

—— 私たちは、どう生きるのか。

Puppet Theater

ゆめみトランク



# BUDOR.

原作：宮沢賢治 脚本・演出：ゆめでとどこ

美術・総合監修：沢則行 プロデュース：中康彦 (国際ジャパン人形劇場のみより(一)) (ホー飛)

音楽：ノヤママナコ/照明：吉戸俊祐/人形製作：人形工房 Vaclav Krčál/美術製作：寺澤宏昭、熊谷美香

「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

農民にそう諭した宮沢賢治の実体験に基づいて書かれた物語、「グスコブドリの伝記」。

冷害、干ばつ、地震、火山・・・様々な自然災害の中で懸命に生きる農民達の

彼らをなんとかして救いたいと願った少年ブドリの生き様が、現代の私たちへ問いかけてます。

—— 私たちは、どう生きるのか。

Puppet Theater

ゆめみトランク



2008年旗揚げ。2009年、チェコ在住の国際的な人形劇家、沢則行の作・演出・美術にて「かぐやめ」を製作し全国を巡演。あいちトリエンナーレ2010にて、日中韓の現代美術家ユニット「西京人」作品「第二章 ここは西京—旅路は彼方の世界へ」において人形劇パフォーマーとして協働。2011年、ゆめみトランク作品「やぎのおはなし」が愛知人形劇センターP新人賞を受賞。記念作品として再びチェコの沢則行とともに「URASHIMA」を製作し、2013年、ASSITEJ (国際児童青少年演劇協会) 韓国センターフェスティバルに正式招聘。国際交流基金ニューデリー日本文化センター主催事業にてインド、ネパールの巡演。インドネシアで開催されたWayang World Puppet Carnivalでは桑原博之が「The Best Actor」を受賞。2014年、損保ジャパン日本興亜と協働し、防災を楽しく学ぶ人形劇「さんびきのこぶたの危機一髪」を製作。後人形劇の更なる可能性を探る創造を目指し、世界を視野に入れた活動を展開する。

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン名古屋ビル 8階 愛知人形劇センター内

tel:090-9909-8285 fax:050-3488-5394 mail:yumemi-trunk@live.jp

yumemi-trunk.com

Puppet Theater

ゆめみトランク